

蘇る最古のピアノ

～ 300年前の響きをふたたび～

筒井一貴 クリストーフオリピアノ リサイタル



クリストーフオリ 1726年製ピアノに基づく複製楽器 (1999年 山本宣夫)

現在演奏されるクラシック音楽の多くは、作曲家が生きていた時代には今の楽器と構造も響きも全く異なる楽器で演奏されていました。ピアノの変化は其中でも極めて劇的であり、およそ別の楽器としか思えないほどにまで変貌し、時代ごとにもさまざまな特徴の楽器がさまざまな姿で現れていたのです。

この演奏会では、ピアノの歴史の中でもっとも古い時代、ピアノの発明者とされているイタリアのクリストーフオリの手によるピアノ(1726年製)の忠実な複製を使用します。この時代のピアノによる演奏会は世界的にもおよそ類が無く、録音も数えるほどしか存在しないのが実状です。現代のピアノでは決して表現できない最初期のピアノ音楽の世界を是非体験してください。

L. ジュスティーニ (1685-1743) :

ピアノとフォルテの出せるいわゆる小槌付チェンバロのためのソナタ集 op.1 より、第3番

D. スカルラッティ (1685-1757) : ソナタ K 6 3, K 6 4, K 4, K 4 4, K 3 0

B. ガルツピ (1706-1785) : ソナタ ハ短調, ニ短調

J. C. F. フィッシャー (1656-1746) :

組曲集「音楽のパルナス山」より、第9組曲「ウラニア」

2004年10月2日(土) 19:30開演(19時開場)
東京文化会館小ホール (JR上野駅公園口すぐ)

主催: プラネット・ワイ 後援: (社) 日本ピアノ調律師協会 関東支部

協力: フォルテピアノ ヤマモトコレクション/玉眞事務所

当日 3,500円 前売 3,000円 (全席自由)

お問合せ: プラネット・ワイ 03-3951-9316 (月～金 11～18時)

チケット取扱 プラネット・ワイ TEL: 03-3951-9316 / FAX: 03-3951-9192
東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
東京古典楽器センター 03-3952-5515



古典鍵盤楽器 (クラヴィコード、クリストーフオリピアノ、チェンバロ) 奏者

1966年東京生まれ。6歳よりピアノを始める。運命的ともいえるクラヴィコードとの出会いは、1996年の日本クラヴィコード協会第1回例会にて。このとき以前からの古典鍵盤楽器への情熱が再燃、以来クラヴィコードによる演奏会を数多く開催。

1999年にフォルテピアノ ヤマモトコレクション (大阪) が完成したクリストーフオリピアノの複製楽器のためのデモCDが内外で高く評価され、2000年イタリアでのユーロ・ピアノコンGRESS 2000、およびウィーン芸術史博物館 (美術史博物館) 古楽器部門にてこの楽器が展示されるきっかけとなる。クリストーフオリピアノによる演奏会は、2000年3月東京、2001年4月帯広・札幌、2001年11月東京、2003年3月大阪など、この楽器の第一人者として定期的に開催。

このほか2001年に石川県立音楽堂オープニングイベント「音楽堂 楽器博物館」にて6種のフォルテピアノ・クラヴィコードを使った演奏会、2003年に国際クラヴィコードシンポジウム (イタリア) での演奏会など、幅広く活動。現代ピアノではアンサンブルおよび伴奏を得意とし、柔軟かつきめ細かな合奏が各地で好評。

クリストーフオリピアノとは？

鍵盤楽器といえばクラヴィコードやチェンバロ、そしてオルガンであった頃、イタリアの大富豪メディチ家の楽器管理を任されていたバルトロメオ・クリストーフオリが、現代のピアノと基本的に同じである弦を叩いて音を出す仕組み、すなわち《ハンマーアクション》を備えた鍵盤楽器の実用化に成功し、1700年のメディチ家の所蔵楽器目録にこの楽器が一台記載されています。

クリストーフオリは、ピアノ発明の初期の段階からこの《ハンマーアクション》に生じる本質的な問題を天才的なアイデアで解決していたことがわかっていますが、それにとどまらず生涯にわたってこの楽器の改良を続けていたようで、晩年になって極めて洗練され完成されたメカニズムを持つ楽器を作り上げました。そのうちの一台が現在ライプツィヒ大学古楽器博物館が所蔵する1726年製の楽器であり、他ならぬ今回の演奏会で使用する複製楽器のオリジナルです。見た目は当時のイタリアンチェンバロと同じ姿をしているためか、とかく「最初期のピアノはチェンバロのボディに弦を叩いて発音するメカニズムを組み込んだだけの未完成な楽器であった」とあらぬ誤解を受け続けていますが、その中身は革新的なアイデアに満ちた、《真の天才による偉大な発明》と呼ぶにふさわしい楽器だったのです。

この複製楽器を制作したのは大阪・堺市在住のフォルテピアノ修復家、山本宣夫氏です。氏は現代ピアノの技術者として1983年にウィーンのベーゼンドルファー本社に留学、そのときウィーンで体験した昔のピアノの素晴らしさに開眼し、1985年にはオーストリア国立ウィーン芸術史博物館 (美術史博物館) 古楽器部門の専属フォルテピアノ修復師となりました。ここで貴重な文化遺産の修復に携わりつつ、自身が収集したさまざまな時代のさまざまなピアノを展示・紹介する「スペース・クリストーフオリ堺」をオープン、現代ピアノが失ってしまったかも知れない、歴史的ピアノの独自の魅力を最大限に伝えるべく多忙な日々を送っています。



楽器を複製した山本宣夫氏と

蘇る最古のピアノ 300年前の響きをふたたび
筒井一貴 クリストーフオリピアノ リサイタル 申込書

申込先：プラネット・ワイ 〒161-0033 東京都新宿区下落合 1-15-21-908 FAX: 03-3951-9192
TEL: 03-3951-9316(月～金 11～18時) E-mail: order@planet-y.co.jp

(ふりがな)

TEL :

お名前

FAX :

〒

E-mail :

ご住所

チケット申込枚数

枚

お申し込み後、ご入金方法をご案内致します